NextStep

冬季学校事務研究会を終えて

令和６年３月
No.42　全事研福井大会研究部

こんにちは、全事研福井大会研究部です。１月に行われた冬季学校事務研究会では、福井大会の分科会を振り返り、今後私たちが推進していきたい「学校組織開発」を提案させていただきました。前半では研究部員による研究の概要説明と提案、そしてそれらにかかわる取組紹介を、後半ではミニワークショップを企画しました。それぞれ振り返ってみましょう！

前半：研究の概要説明と提案・取組紹介

研究の概要説明と提案

「リーダーシップ de 組織開発」をテーマに掲げ、「意識の壁」と「仕組みの壁」をどう乗り越えていくかを提案しました。他職との対話や協働の過程でリーダーシップを発揮し、学校組織が円滑に回るようにアシストしていく役割を果たしていくことがこれからの事務職員に求められています。

取組紹介

研究部員のおおい町立本郷小学校　早川主任より「水の授業のゲストティーチャー」と「児童による校内ボランティア活動の継承」の２つの取組について紹介しました。１つ目は事務職員としての専門性を生かし、ゲストティーチャーとして４年生の水に関する授業を行う取組です。２つ目は、前任者の校内ボランティア活動の運営を引き継いで行っている取組です。

研究の提案と取組の詳細については、各支部理事を通して配付されます福井大会記録集を御覧ください。

前半についての感想

研修会後のアンケートでは下記のような感想をいただきました。

- **「自ら仕事の壁をつくらない」というおおい町の取組で紹介された言葉がとても印象的でした。**
- **個人の実践は、その人が異動してしまうと後任の負担になって、うまく継承されていかないケースが多いと思いますが、そういった点を克服しながら取組をされているのが素晴らしいなと思いました。**
- **（当時は意識していなかったかもしれないが、）「仕組みの壁」や「意識の壁」を越えて教員・管理職と連携すれば、事務職員が授業に入ることもできるということが印象的だった。実際に可能かどうか・自ら授業をする必要があるかは別の問題になるが、壁を越えて実現可能な協働の視野が広がった。**
- **教育活動を理解し、財務等の専門性を生かして提案することは必要と感じつつ、具体的にどう動いたらいいかわからずなかなか一歩目が踏み出せない現状だった。まずは自身の意識の壁を乗り越えたいと思った。 オンラインだったが、Google フォームを通じてリアルタイムで会員がつながっている感じや、意見を受け止めて前向きに広げていく進行がとても楽しくワクワクする研修だった。**
- **意識と仕組みをうまく連動させること、少しの勇気と提案が自分が作ってしまっている壁を壊すことになり、学校組織の開発につながるのだと学んだ。**

後半：ミニワークショップ　～読書活動の活性化に向けて、できることを考えよう～

学校の図書室で考えられる課題について、Google フォームを用いて、参加者の皆さんから意見を募り、研究部員が紹介・コメントしました。学校にはいろいろな課題がありますが、それらの課題に事務職員としてどうかかわっていけるか、皆さんと一緒に考えたく思い、このような企画になりました。

以下に寄せられた御意見と進行を務めた研究部員のコメントの一部を紹介します。

環境に関すること

会員

カーテン・カーペットを明るい色にする。

研究部

図書室をより入りやすい雰囲気にするということですね！
どういうものが良いのか、教職員の意見だけでなく子どもたちの声を吸い上げる機会があると良いでしょう。

図書主任と環境整備について考える。

ひとりで考えるのではなく、関係のある様々な人とみんなで考えていくことが大切です。自分ひとりでは何もできないと思うかもしれませんが、「より良くしたい」という意識をもって図書主任にアイディアを投げかけてみたりすることで、少しでも前に進むことができるのではないでしょうか。

本の種類・刷新に関すること

会員

市の図書館との連携を強化する。

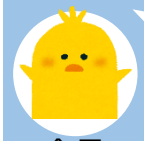
研究部

市の図書館と連携して本を借りる仕組みができると、学校にある蔵書以外の様々な本に触れる機会が増えますね。その連絡調整を事務職員が担えるのではないでしょうか。

本が傷まないような対策。窓に紫外線フィルターを貼る。

本を新しくすることも大事だが、そもそも傷まない工夫をする。目からうろこの良い意見ですね！本ではなく窓に貼ることで、部屋全体がいい状態に保てるでしょう。予算的にも、長期的にみると安上がりかもしれない。事務職員として、見積もりやその方法の有効性について検討することができますね！

共通



会員

どれも共同実施ですれば市町全校のメリットになる！

研究部

１校では対応が難しいことでも、共同実施であれば一緒に考えて行動することができます。
自分ひとりで考えていることでも、話すことで気づきがありふくらんでいって、より良い取組に発展していく。共同実施の効果ですね！

当日寄せられた御意見

当日は 200 件近くものたくさんの御意見をいただきました。ありがとうございました！
時間の都合で紹介できなかったものがたくさんあります。
こちらの二次元コードから、ぜひ御一読ください。

ミニワークショップについての感想

研究会後のアンケートには下記のような感想が寄せられました。

- **ミニワークショップで、画期的なアイディアが聞けてとても参考になりました。司会のおふたりのトークも素晴らしかったです。**
- **ミニワークショップでは、ラジオのような形式で話が頭に入ってきやすかった。**
- **どの子どもたちも本に親しみをもてる図書室の環境整備を考えたいと思った。**

アドリブが多い進行でうまくできるか心配でしたが、皆さんからの活発な御意見のおかげで様々な改善策を紹介することができました。
ありがとうございました！

うれしい報告をいただきました！

冬季研究会の数日後、会員の方から、「こんな実践をしてみました！」という報告をいただきました。

「ここがこうなるともっと楽しい学校になるなあ。」ということをお花型の紙に書いて入れてもらう箱を設置して、子どもたちに呼びかけをしました。

たくさんのお花が咲くといいですね！

冬季研を終えて

研究会後のアンケートでは、「ミニワークショップを受けて、学校や共同実施で何かしてみようと思いましたか？」との問いに、約８割の方に「思った・とても思った」と回答していただきました。また『「意識」×「仕組みづくり」によって、学校の組織開発につながることが理解できましたか？』の問いには、９割以上もの方に「理解できた」と回答していただきました。

今回は図書室について考えていただきましたが、どんなことでも良いのです！今回の研究会をきっかけに学校の中のいろいろなことにアンテナを張って、「意識」を高くもって、「仕組みづくり」でより良い学校になるよう日々の仕事に取り組んでいただけたらと思います。

５年間ありがとうございました！

令和元年度からの福井大会実行委員会研究部の活動も、おかげさまで今年度末をもって５年間の任務を終えることができました。
会員の皆さんのお力添えに心より感謝申し上げます。
来年度からは、県事研研究部にこれまでの研究の成果と課題を引き継ぎます。福井県の学校事務のさらなるパワーアップに向けて、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。